

平成26年度 第1回平塚市食育推進会議 会議録

日時 平成26年(2014年)8月11日(月) 午後2時00分から午後3時30分まで
会場 保健センター 3階 会議室1、2
出席者 森政委員、小宮委員、柳田委員、加藤委員、岩田委員、永瀬委員、宇野委員、大高委員、添野委員、佐藤委員、松本委員、関口委員、猪俣委員、石室屋技師(平塚保健福祉事務所)(計14名)
事務局

1 開会

本日傍聴の方はなし。

(1) 委嘱状交付

宮川課長：今年度は平塚民間保育園連盟からの委員に変更があったので、石田健康・子ども部長から委嘱状の交付を行う。

本日は山田委員、三浦委員が欠席である。

開会のあいさつ

石田部長：平塚市食育推進会議は、平成24年度まで「平塚市食育推進委員会」として設置されていたが、平成25年度から条例により規定され、名称を「平塚市食育推進会議」と改められた。当会議は、「平塚市食育推進計画」の作成等について審議し、その実施を推進するものである。今年度は平塚市食育推進計画の見直しの年度であり、本日は現計画に関して、昨年度の計画事業及び今年5月に実施した実態調査結果の報告をするとともに、事務局で作成した計画素案たたき台について諮って参りたい。次期計画は、現行計画の基本理念である「みんなで はぐくもう！食育のまち ひらつかの未来」を引き継ぎ、国や県の2次計画と整合を図りながら策定していきたい。次期計画の策定に向けて、行政機関や関係団体が連携・協力し、市民自らが食育を実践していくことを推進できるよう「情報の共有化」が求められる。

本日も貴重な御意見をいただきたいので、よろしく願いたい。

2 議題

(1) 第2次平塚市食育推進計画策定スケジュールについて(資料3)

事務局：『平成26年度平塚市食育推進計画 進行予定表について説明。』

会長：第2次平塚市食育推進計画策定スケジュールについて、質問等はあるか。

特になし。

(2) 平成25年度平塚市食育推進計画の取組結果について(資料4)

事務局：『平成25年度平塚市食育推進計画の事業に関する調書(次期(平成26年度)取組概要)について説明。』

本計画の評価及び進捗状況については、現行計画書の24～26ページに計画指標が設定されている。指標の達成に向けた取り組みは35ページの「学校での取組みの推進」

の中に「食に関する学習・指導」があるように、計画事業として各課の事業に位置づけられている。食育推進計画に掲げている取組すべてについて、各担当課の年間実施状況などを把握するため事業に関する調書を毎年作成している。

事業に関する調書の基本方針に関しては27ページの平塚市食育推進計画体系図で表している。7つの基本的施策ごとに計画事業の取組実績を事業の主管課が報告し、年度ごとに取りまとめている。報告の内容は事業の内容と、事業実績、食育としての事業効果、次期取組みと時期取組みでの改善・工夫となっている。計画事業の内容は各担当課が年度ごとに事業の内容を見直すこともあり、変更になることもある。平成25年度の事業に関する調書の報告では、7つの基本的施策に基づき64個の事業報告があった。

「1 平成24年度調書から平成25年度取組の展開の変更」は2事業ある。事業番号「5 - 農 10」計画事業名「親子収穫体験会」については、昨年度報告の際、主催者であるJA 湘南が、本事業を平成24年度で休止とした。今後の取組みについては、農協と調整するため、休止または廃止の方向と担当課から報告があった。昨年度は平塚市園芸協会の主催で実施することができたと報告があった。また、事業番号「3 - 農 1」計画事業名「各種事業での活用」では、食事バランスガイドや食生活指針を各種事業で活用し農業理解を推進する予定だったが、廃止の報告があった。

「3 展開項目ごとの概要(1) 拡充・充実予定」の事業について1件追加。指標分類「体験」事業番号「5 - 農 6」計画事業名「親子ふれあい体験(農業)」を追加してほしい。こちらは、事業主体であるサポートファーマークラブや他課と連携し、農業や農作物への理解が進むような体験事業を今後も連携していくと報告を受けている。

会 長：平成25年度平塚市食育推進計画の取組結果について質問等はあるか。

特になし。

(3) 平成26年度平塚市食育推進のための実態調査について(資料5)

事務局：『平成26年度平塚市食育推進のための実態調査について説明。』

実態調査については、昨年度会議での御意見をもとに作成し、今年5月実施することができた。対象は無作為抽出の3000人。市民全体の1.3%にあたる。有効回答は4割の回答を達成した。回収率は女性の方が多い。年齢別では50歳代の回答が多い。各地域から4割を超える回答があった。職業の内訳は乳幼児・学生を除き8割方就労している。具体的な設問項目については「平塚市食育推進計画 計画指標 評価一覧表」と併せて説明する。実態調査の目的は現行計画の評価と次期計画の指標を掲げるためである。現行計画の評価については、基本方針「家庭ではじめる食育」指標「早寝早起き朝ごはんを実践する家庭の割合」の確認は実態調査の問7「食事で気をつけていることはありますか。」で評価した。策定時の値は平成17年度乳幼児栄養調査(対象年齢3歳、複数回答可)の結果から平塚市の現状として設定した。中間調査は平成23年に実施した。中間調査はライフステージ別に回答いただいたため、0~5歳の結果となった。また、回答は1つのみで実施したため、中間調査の結果の値は策定時と比較し大きく差が出た。今回の実態調査は改善し、実年齢を確認し、複数回答可とした。資料5では0~5歳の標記となっているが、評価一覧表に関しては3歳のみで再集計した。3歳への発送件数は31件、回収件数は14件になった。うち食事の時間(リズム)に気をつけている人は10件で最終評価の値と

しては71.4%だった。次に指標「バランスのとれた朝食を食べる子どもと大人の割合」の確認は実態調査の問8「あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか」と問9「朝食を食べると答えた方へ。どのようなものを食べていますか。」のクロス集計で評価した。朝食を食べない人を除き、主食・主菜・副菜を選んだ人で割った値になる。最終評価は目標に達しなかった。

次に基本方針「体験を通じた食育」指標「食に関する体験活動・情報提供の場の充実」の確認は実態調査でなく、資料4で確認できる。小中学校に関しては教育指導課から全校に食育の事業を展開していると報告を受けているので100%とした。高校に関しては本市で取組みをすることが難しく、目標に達せず1回であった。公民館に関しては、すべての26公民館で事業が実施できた。漁業・加工見学、パンフレット作成に関しては本市の事業として実施している。

次に、指標「食に関する事業を知っている件数」の確認は実態調査の問30「平塚市で行っている食育事業で知っているものはありますか。」で評価した。策定時のアンケートでは16歳以上を対象としたため、最終評価に関しても同様とした。若干数値は上がっているが目標値まで届かなかった。

次に、指標「食育を唱えた村井弦斎の認知率」の確認は実態調査の問24「村井弦斎という人を知っていますか。」で評価した。「知っている」と回答した値になり、「名前だけは知っている」は含まれない。策定時に比べ認知率はあがっているが、目標値に届かなかった。

次に、基本方針「健康づくりのための食育」指標「野菜を1日350g食べている人の割合」の確認は実態調査の問29「日頃、野菜やいも、海藻などのおかず(副菜)をどのくらい食べていますか。」で評価した。朝・昼・夕食ごとの回答のため、1日分を合計し、5皿以上の人の割合を掲載している。策定時の値は平塚市健康増進計画のアンケートから野菜摂取量について確認をしている。アンケートは20歳以上対象だったため最終評価も同様とした。

次に、基本方針「人とのふれあいを通じた食育」指標「食育に関心を持っている人の割合」の確認は実態調査の問22「食育について関心がありますか」で評価した。「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計が67.3%となる。策定時より減少し、目標には届かなかった。

会 長：平塚市推進計画計画指標評価一覧表と平塚市食育推進のための実態調査の報告について説明いただいた。質問等はあるか。

加藤委員：対象年齢について、0～5歳は保護者が回答していると思われるが、調査をする必要性はあるのか。

事務局：今回の実態調査は、現行の平塚市食育推進計画の評価にも使用する。正確な評価ができるよう0～5歳についても実施させていただいた。今後、第2次計画の評価については、他市町村や県の調査状況を確認し、検討していきたい。

加藤委員：村井弦斎は「徳育よりも、智育よりも、食育が先。体育、徳育の根源も食育にある。」と言っている。この理念について食育推進計画でもとりあげてほしい。

会 長：村井弦斎の名前だけでなく理念についても理解しているかの確認も検討していきたい。他に意見や質問等はあるか。

特になし

(4)(仮)第2次平塚市食育推進計画素案たたき台について(資料6)

事務局：『(仮)第2次平塚市食育推進計画素案たたき台について説明。』

現行計画が今年度で終了するに当たり、たたき台を作成した、前回3月の会議で第2次平塚市食育推進計画(案)で報告したものを素案としてまとめた。

会長：目標値は庁内で検討され、次回の会議には記載されているのか。

事務局：はい。9月又は10月の庁内会議で検討し、11月の平塚市食育推進会議で示す予定である。

会長：他に何か質問等はあるか。

猪俣委員：野菜を1日350g食べている人の割合について、低いように感じる。アンケートの設問内容は適切だったのか。

事務局：アンケートには、料理例で1皿分は、野菜サラダ、ポテトサラダ、酢の物、お浸し、ごま和え、具だくさんみそ汁、野菜スープ、煮豆・・・等、文字で記載した。本来1皿分、2皿分と数字で回答いただくのだが、料理名の回答もあり、事務局で数字に換算した。また、県の調査方法は秤量調査を実施しており数量で確認できる。本市で同様の調査は難しい。

猪俣委員：指標「健康な食事内容を心がけている割合」の現状値が81.5%なのに「野菜を1日350g食べている人の割合」が20.5%は違和感を感じ質問をした。

事務局：健康な食事内容を心がけていても、食事の全体量が少ない場合野菜が350gに達しない場合も考えられる。

会長：今回は350g食べたか否かで集計をしている。野菜350gは相当意識して野菜をとらないと食べきれない分量である。国や県のデータと市のデータのひらきを確認していただきたい。

他に意見や質問等はあるか。

特になし。

何かありましたら事務局に直接連絡をしていただきたい。

(5)その他

村井弦斎まつりについて(加藤委員)

9月28日(日)9時~15時に村井弦斎公園で「村井弦斎まつり」を実施する。都合がつかう方は是非いらしていただきたい。

3 閉会

次回の会議開催予定は、11月頃。

以上